

# 令和7年度愛知県特定健診・特定保健指導研修会（事業運営編）

## 研修実施報告

### 1. 日程・内容等について

#### 【目的及び趣旨】

特定健診・特定保健指導（第4期）制度を理解し、効果的な保健事業運営や事業評価を学ぶことで、特定健診受診率、特定保健指導実施率向上を目指すことを目的とする。

#### 【日時】

令和7年12月11日（木）午後1時30分から午後4時30分まで

#### 【対象者】

愛知県内の医療保険者、健診・保健指導機関、市町村、事業所等で、特定健診・特定保健指導の事業運営に携わっている職員のうち、(1)もしくは(2)に該当する者

- (1) 保健指導チームのリーダー的立場にある専門職
- (2) 特定保健指導事業の運営責任者（事務担当者等）

#### 【方法】

来場型研修

#### 【プログラム】

時間※1	内容※2	ねらい
事前課題	ワークシート 自機関の特定健診・特定保健指導事業の実施状況の整理	自機関の実施状況の現状把握ができる。
事前視聴もしくは 研修会前12:45より上映 (30分)	動画視聴 「特定健診・特定保健指導制度について」 健康支援事業部健康支援事業課 課長 佐々木 伸一	特定健診・特定保健指導制度の目的、制度、仕組みについて概説できる。
13:00	受付（13:25までに必ず入室してください）	
13:30 (5分)	開会・オリエンテーション	
13:35 (45分)	講義+事前課題の確認 「現場で活かす！PDCAサイクルを踏まえたデータの見方の基礎」 健康開発部健康増進課 主任 中村 啓	実施状況やアウトカムなどの事業データの見方について学び、PDCAサイクルを踏まえた課題の優先順位づけに活用できる。
14:20 (90分 うち休憩10分)	演習（グループワーク） 「“数字と声”を統合して判断！事業運営の課題の優先付け体験」 健康開発部研修啓発課	他機関の参加者や他職種と意見交換を行い、実施状況や各立場の視点から優先すべき課題を検討できる。
15:50 (20分)	意見交換	研修の学びをもとに、全体で意見を共有し、自機関の保健事業運営に役立てる。
16:10 (20分)	全体のまとめ・質疑応答	
16:30	閉会	

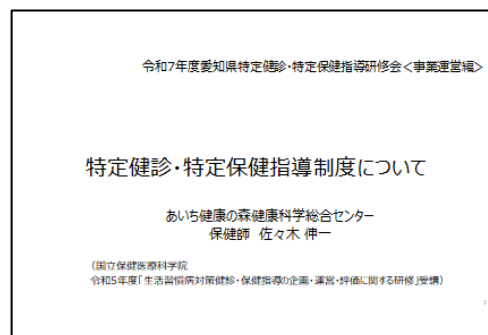
本年度は「特定健診・特定保健指導事業の運営責任者や特定保健指導チームのリーダー的立場にある専門職が、保健事業運営の関係者と連携し、特定健診・特定保健指導事業の運営における課題解決プロセスを確立できるように、①特定健診・特定保健指導プログラムの理念や制度、PDCAサイクルの基本を理解し、②実施状況に基づき、特徴に合わせた健康づくり保健事業の運営に取り組む態度を醸成し、③ニーズ（課題）の本質を優先順位付けし、取り組むべき課題を特定する基本的スキルを獲得する。」を一般目標とし、講義とワークショップ形式の演習、意見交換を行いました。演習、意見交換は、研修前アンケート

の結果より特定健診・特定保健指導事業の運営で課題に感じていること（特定健診受診率向上、特定保健指導実施率向上、教育体制、事業計画）と参加者の属性（医療保険者・事業所、健診・保健指導機関、市町村）を考慮したグループ（4～7名、8グループ）で行った。

## 動画視聴

### 「特定健診・特定保健指導制度について」

本研修の事前学習として、健康支援事業課長の佐々木によるオンデマンド講義を実施した。特定健診・特定保健指導制度の基本理念に加え、第4期計画における主要な改定事項の概要を事前に周知することで、受講者間での共通認識の形成と、本編研修へのスムーズな導入を図った。



## 講義、事前課題の確認

### 「現場で活かす！PDCAサイクルを踏まえたデータの見方の基礎」

健康増進課主任の中村より、PDCAサイクルに基づいた事業運用の方法について講義を行った。具体的には、実施状況の把握からアウトカム評価に至る事業データの解釈と活用方法を解説した。また、事前課題のねらいを再整理した上で、講義内容を各受講者の自機関データと照合・確認させるプロセスを取り入れ、理論と実務データの接続による実証的な理解を促進した。

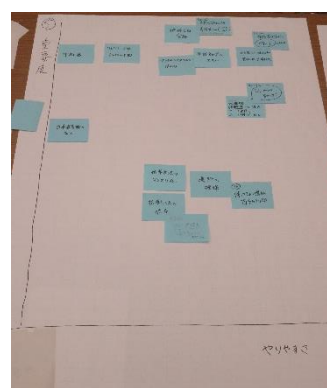
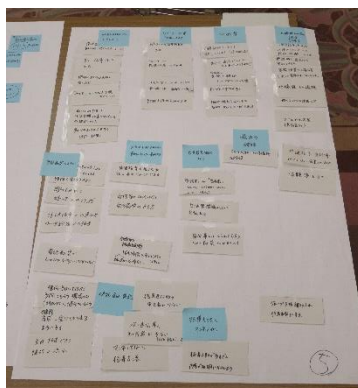


## 演習（グループワーク）

### 「“数字と声”を統合して判断！事業運営の課題の優先付け体験」「意見交換」

研修啓発課主事の池田による進行のもと、事前課題で整理した量的データに実務上の課題を統合するための演習を実施した。実際の特定健診・特定保健指導の事業運営における課題をテーマに、KJ法や二次元展開法を用いたブレインストーミングを行い、課題の構造化を図った。数値の背後にある運営上の具体的な課題を可視化し、多角的な視点から解決策を検討する実践的なプロセスを習得した。

意見交換では、グループ間のメンバー構成を再編し、各グループで集約された意見の相互共有を図った。異なる視点を持つ受講者同士の知見を融合させることで、単一のグループ内では得られなかった多角的な解決策や新たな気づきを促した。



研修の前後において、以下のワークシートおよびアンケートを用いた多角的な評価を実施した。事前ワークシート（左）では、特定健診・特定保健指導の事業関連図に自機関のデータを記載することで、現状の構造的把握を行い、当日の講義・演習へのスムーズな導入を図った。また、事前アンケート（中央）で運営上の課題と習得スキルの現状を可視化し、研修後には同一のスキルチェックリストを用いた事後アンケート（右）を実施した。これにより、受講者個々のスキルの変容を定量的に捉え、学習成果の自己省察を促進した。

事前ワークシート

## 2. 申込、参加について

【申込者数】54人（男：9人、女：45人）

【参加者数】50人（男：8人、女：42人）

【参加者内訳：所属別（人）】

医療保険者	健診・保健指導機関	市町村	事業所	その他
5	13	20	9	3

【参加者内訳：職種別（人）】

保健師	管理栄養士	事務職	その他運営責任者
25	12	10	3

【参加者内訳：保健指導の計画・評価に関する経験年数別（人）】

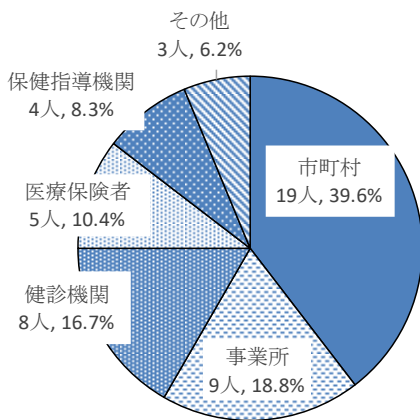
経験なし	1～2年	3～8年	9～13年	14年以上	未回答
28	10	7	1	3	1
		※第3期（2018～2023年）経験相当	※第2期（2013～2017年）経験相当	※第1期（2008～2012年）経験相当	

※特定健康診査等実施計画

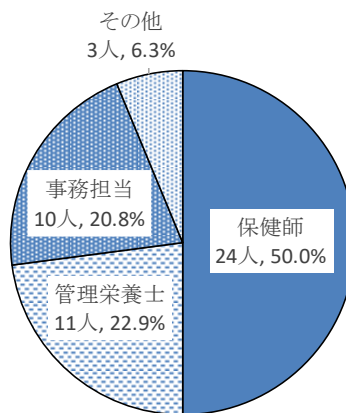
### 3. アンケート結果について

【回収状況】参加者 50 人のうち、48 人から回収（回収率 96.0%）

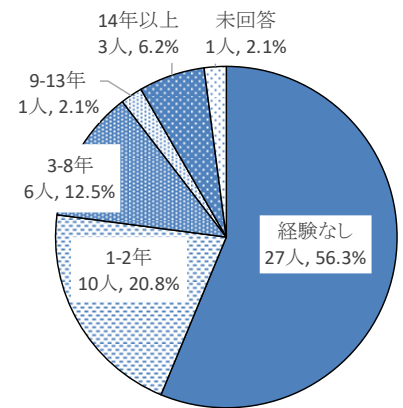
#### (1) 回答者の所属



#### (2) 職種

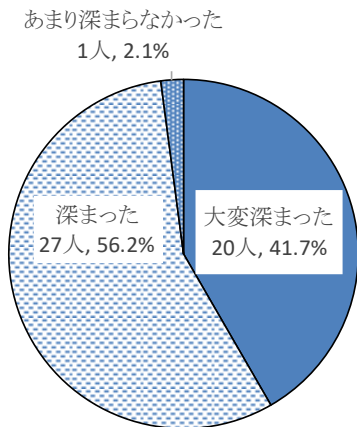


#### (3) 経験年数

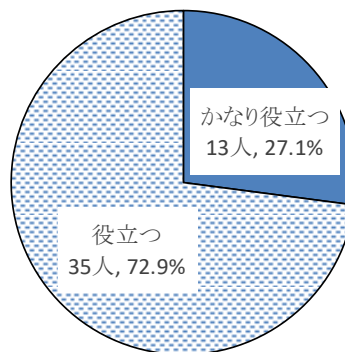


### 【質問項目のまとめ】

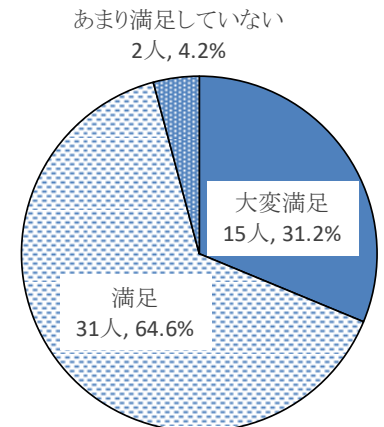
#### (1) 知識の深まり



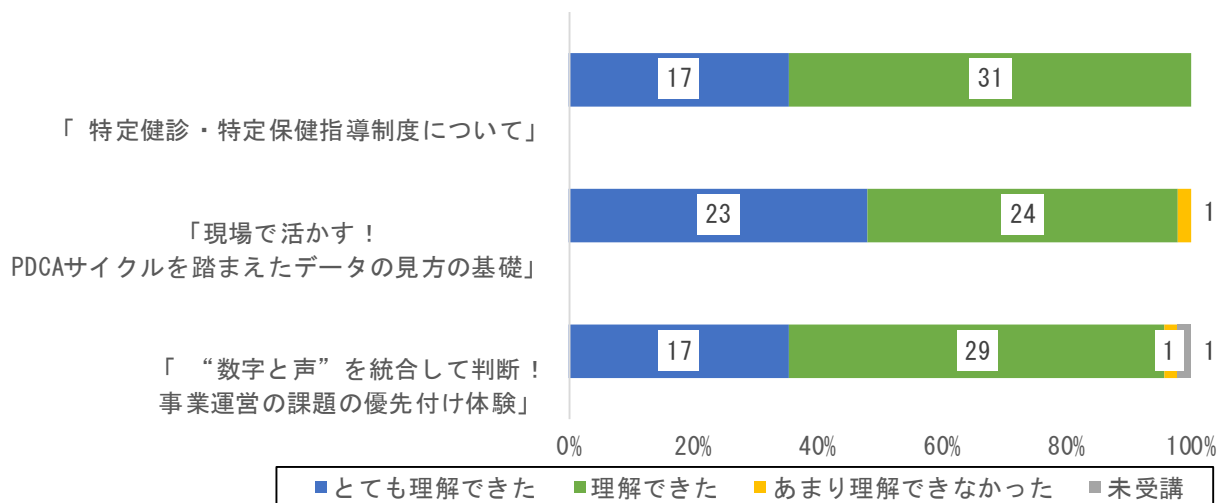
#### (2) 役立ち度



#### (3) 満足度

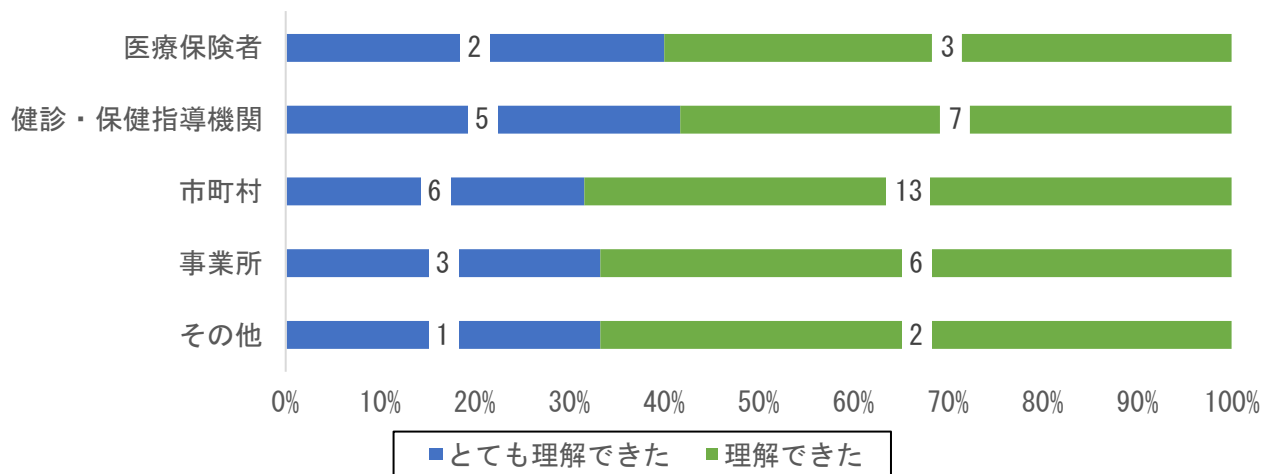


#### (4) プログラム別 理解度 (n=48)

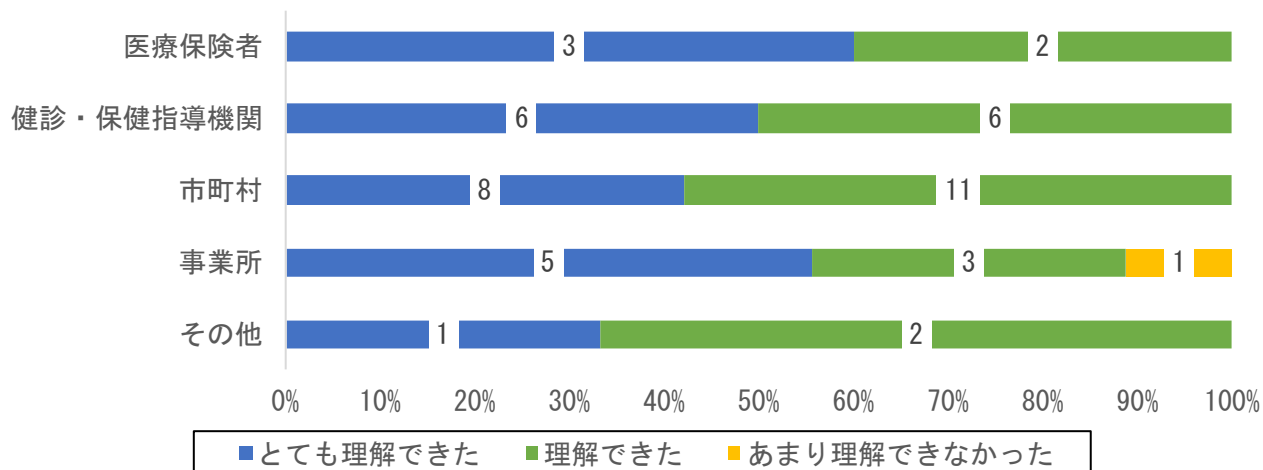


(5) 所属別 理解度 (n=48)

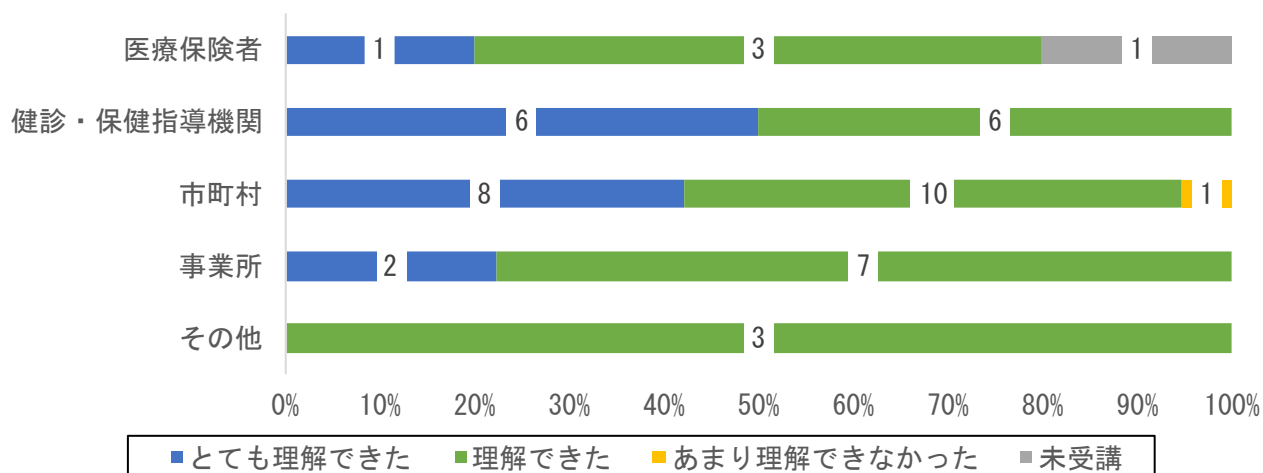
「特定健診・特定保健指導制度について」



「現場で活かす！PDCA サイクルを踏まえたデータの見方の基礎」



「“数字と声”を統合して判断！事業運営の課題の優先付け体験」



## (6) 参加者の感想（自由記載から一部抜粋）

### <研修全般について>

- ・基礎知識がないレベルから、他の立場の方の目線を知る段階まで到達することができた。
- ・事業評価や見直しに活かしていきたい。
- ・グループワークが多かったため、もう少し時間をかけられるとよいと感じた。

### <講義について>

- ・とても分かりやすく、すぐに参考にできる。実際の業務に役立つ内容で、非常に良かった。
- ・実施率 100%を達成して、早く次のステップ（アウトカム）の段階まで進めるようになりたいと思った。
- ・保健指導用にパンフレットを作成したいと思っているが、作成にかかる時間がなかなかとれない。
- ・多くの医療機関が保健指導を効率よく行っていくための、参考資料があればと思う。
- ・講義で触れられた「40 歳未満の方に対する保健指導」の実施に際して、どのようなハードルがあるのかを知りたい。

### <演習（グループワークについて）>

- ・健保や事業所の運営の方とグループワークができ、実際の現場でどのような話し合いが必要かイメージできた。
- ・他機関や市町村側の意見が聞けてよかった。
- ・グループディスカッションで医療機関側の意見を伺うことができ、行政側とのやり方や肌感覚のギャップを知ることができた。
- ・普段あまり関わる機会のない他機関の方と情報交換ができ、大変有意義な時間になった。
- ・今日行ったグループワークを、職場でも同じように実践してみたいと感じた。
- ・グループワークでの作業説明が、もう少し分かりやすいとよかった。
- ・他の参加者と担当している事業に違いがあり、ワークでの意見のすり合わせに苦労した。

### <次回研修会の要望>

- ・保健指導者のラダー、および教育システムの構築について
- ・保健指導の質の向上について
- ・保健指導の DX 化（システムでのデータの抽出方法・作成方法）
- ・保健指導の「アウトプット編」「アウトカム編」のような細分化
- ・PDCA サイクルを踏まえた、データの見方の応用編
- ・他機関の事例共有
- ・特定保健指導の進め方、目標設定、資料媒体の作成など
- ・効果的な受診勧奨の方法について
- ・特定保健指導の実施率アップに向けた施策

## 4. 修了状況について

参加者 50 人のうち、全プログラムを受講した者 49 人（98.0%）に、本研修会の修了証を交付した。